

## 幸手市の公共交通がめざす姿・方向性



### 現状・問題等をふまえた、今後に向けた課題・着眼点

(前回提示内容)

#### 今後に向けた課題・着眼点

---

- 高齢化の進展をみすえ、市内の外出手段を確保することが必要。
  - 厳しい運営状況で、人口減少も見込まれる中、将来にわたり、公共交通を持続していくことが必要。
  - 大幅な充実等は難しいが、外出の利便性を確保する方策の可能性を模索することが必要。
  - 全体として、「わかりやすさ」を充実することが必要。
  - 乗り継ぎの拠点となる場所の「待ち環境」を充実することが必要。
  - 少しずつでも、クルマ中心の外出スタイルの見直し、公共交通への意識の醸成に取り組むことが必要。
  - 観光・まちの賑わい、福祉、地球環境、健康、交通安全など、多様な分野との連携を模索することも必要。
-

## 幸手市の公共交通がめざす姿・取り組みの方向性

本市の現状、課題と将来に向けたまちづくりを踏まえ、以下を幸手市の地域公共交通がめざす姿（基本理念）及び今後の取り組みの方向性（基本方針）とします。

### ■ 幸手市の公共交通がめざす姿（基本理念）（仮）

みんなで考え  
みんなで育てる、  
持続可能な公共交通の実現



### ■ 今後の取り組みの方向性（基本方針）

#### 方向性 1

将来にわたり、地域にふさわしい公共交通を  
持続します

#### 方向性 2

高齢化等を見すえ、市内の外出手段を  
確保し、便利にする調整・工夫をします

#### 方向性 3

利用時のわかりやすさ、  
やさしさを充実します

#### 方向性 4

クルマ中心の外出スタイルを見直し、  
公共交通を利用する意識の醸成を図ります

#### 方向性 5

まちの賑わい創出に貢献する方策を  
模索します



# 今後に向けた取り組み



## 取り組み（事業）の体系

今後に向けた取り組み（事業）の体系は以下の通りです。

取り組みについては、計画期間（5年間）の中で、具体的な実施方法を、必要に応じて実証運行・試行等をふまえながら検討・調整し、準備をふまえ本格的な導入を行います。

### 方向性1

将来にわたり、地域にふさわしい公共交通を持続します



取り組み  
1-1

公共交通の持続的な運行



取り組み  
1-2

運行形態の見直しによる持続的な運行



取り組み  
1-3

日常的な利用客（固定客）の確保



取り組み  
1-4

持続的な運営のための方策の検討

### 方向性2

高齢化等を見すえ、市内の外出手段を確保し、便利にする調整・工夫をします



取り組み  
2-1

市内の外出手段の効率的な確保



取り組み  
2-2

市内のお出かけの利便性向上のための運行・運用方法の工夫



取り組み  
2-3

市外へのお出かけの利便性向上のための運行・運用方法の工夫



取り組み  
2-4

福祉等と連携した外出支援

\* 乗合の公共交通の利用が難しい人への支援

### 方向性 3

利用時のわかりやすさ、  
やさしさを充実します

取り組み  
3-1

市の公共交通全体のわかりやすさの充実（出発前の情報）

取り組み  
3-2

乗り場での案内の充実（現地でのわかりやすさ）

取り組み  
3-3

乗り継ぎ拠点での案内の充実

取り組み  
3-4

乗り継ぎ拠点での待ち環境の充実

\* 待ち時間が長くても過ごせる環境にする

取り組み  
3-5

人にも地球にもやさしい利用環境

### 方向性 4

クルマ中心の外出スタイルを見直し、  
公共交通を利用する意識の醸成を図ります

取り組み  
4-1

市民への広報PR

取り組み  
4-2

免許返納者へのサポート

取り組み  
4-3

市民のモビリティ・マネジメントへの挑戦

取り組み  
4-4

地域が中心になって考える機会の提供

### 方向性 5

まちの賑わい創出に貢献する方策を  
模索します

取り組み  
5-1

イベント開催時の連携

取り組み  
5-2

観光オンシーズンに公共交通が連携した企画等の検討

取り組み  
5-3

来訪者の利便性の充実